

湯けむり探訪

ふくしま

40 福島市・あづま温泉

ドリンク1杯分

標高約500級の露天風呂からは福島市中心部から伊達方面までを見渡せる。福島市佐原の

あづま温泉。絶景を楽しめる何ともせいたくな環境だが、入浴料は350円と格安だ。

記者になる以前は東京に住んでいた。温泉は年に1度行くかどうかの遠出だったが、コーヒーチェーンでカフェラテを買う気軽さと



値段で温泉を楽しめる、福島の豊かさを感じずにはいられない。市中心部から車で西へ約30分。

山道を上ると、野菜の無人販売所には「高原野菜」ののぼり旗が立ち、市街地では降っていないなかった小雪が舞い始めた。温泉は高原らしい澄んだ空気に包まれた場所にある。

最高の見晴らし

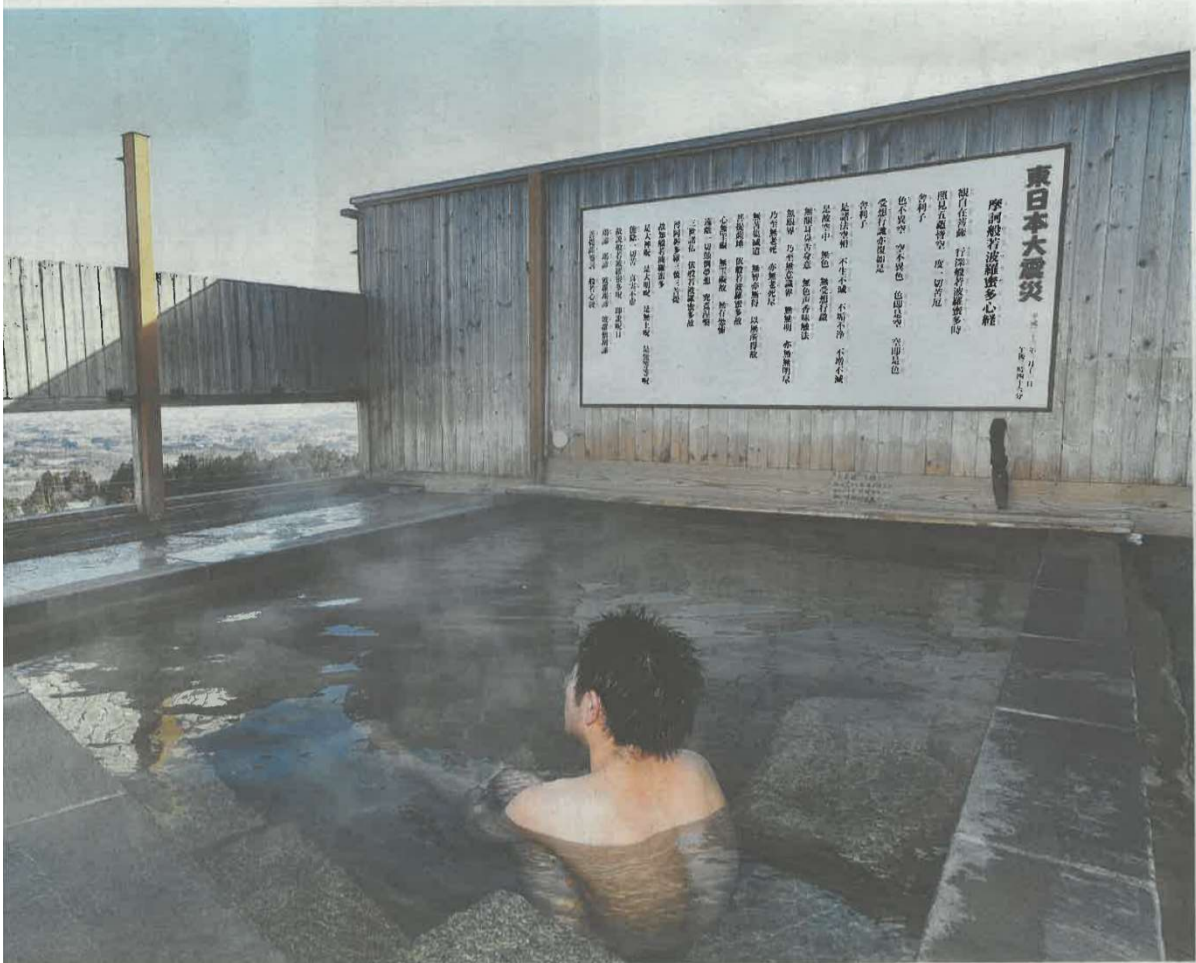
駐車場からの眺望にしばらく見とれてから温泉にお邪魔すると、同温泉を管理するシニアライフ・ケアサービスの責任者古谷信市さん(68)が笑顔で出迎えてくれた。温泉は2008(平成20)年にオープン。地下1250級から引

駐車場から見た福島市の夜景



【メモ】あづま温泉=福島市佐原字竹ノ森26。利用料は中学生以上350円(税込み)、小学生以下170円(同)、3歳未満無料。午前9時~午後9時(最終受け付け同8時30分)、木曜定休。☎024・593・1009

豊かな時間 お気軽に



標高約500級の露天風呂からは福島市中心市街地などが見渡せる(吉田義広撮影)

く100%源泉掛け流しで、わずかに黄色がかかったお湯には若干のとろみを感じる。塩分の多い炭酸水素ナトリウム泉で、近隣の土湯温泉とも湯質が異なる。乾燥肌やひざ痛、肩こりなどに良く、入浴後は寝つきがよいと評判だ。湯の温度は約42度。長く入浴してものほほせず、体の芯から温まる。普段の入浴は「鳥の行水」だが、居心地の良さについて長風呂をしてしまった。風呂上がりには、何もつけなくても肌がしっとりしている。

露天風呂からの眺めは、視界を遮るものがない。長年の常連だという同市の女性は「市街地から近く、絶景。友達を連れてくると喜ばれる」と話し、古谷さんは「特に夜景が最高」と太鼓判を押す。温泉以外の楽しみ方もできる。駐車場には冷暖房完備のバンガローが5棟あり、1棟1泊3千円で

宿泊できるほか、シニア層を中心に人気を集めるキャンピングカーの宿泊も受け入れている。温泉は350円で滞在中入り放題。口コミで県内外に人気を広げている。



冷暖房完備のバンガローも人気だ

「地元のお客さんが喜んでくれることが一番。安くていい温泉で心身を癒やし、明日への活力にしてほしい」と古谷さん。近くに「ある工業団地や介護施設などの夜勤明けの人が朝一番に利用することも多い」という。

古谷さんは「温泉は自然の恵みだが、自然は地震や津波ももたらす。自然のありがたさと怖さを忘れないように」とも語る。東日本大震災直後は、近くのあづま総合運動公園に避難した被災者に温泉を無料開放したこともあった。露天風呂には般若心経を掲げ、駐車場には震災の供養塔を建てた。月命日には供養祭も行っている。

「地域の人に愛されてこそ温泉」。古谷さんの言葉が強く印象に残った。(報道部・松永優子)